

詐欺未遂事件が連続発生



5月9日、遠賀川三丁目に居住する80歳代男性に、息子をかたる男から「税金を滞納してしまった、250万円振り込んで」という内容の電話がありました。しかし男性が実の息子に電話したことで、詐欺が発覚し被害に遭いませんでした。

5月20日には80歳代の女性が、詐欺の電話に指示されるままに松の本にある商業施設のATMから現金を振り込もうとしましたが、不安になり警察に通報したため被害を免れています。

詐欺の犯人は、言葉巧みにあなたの不安を掻き立て、現金を要求してきます。電話でお金のお話が出たら、その場で判断せず、家族や警察に相談して下さい。



知らない番号からの電話には出ない。
そして、かけ直さない。

電話でお金のお話は全て詐欺！



遠賀川

当て逃げ車両を特定

5月10日午後3時頃、遠賀町松の本一丁目にある商業施設の駐車場で、駐車していた車両に別の車両に接触し、そのまま立ち去る当て逃げ交通事故が発生しました。

被害に遭った車両の運転手は買い物中だったため、乗車しておらず怪我はありませんでした。

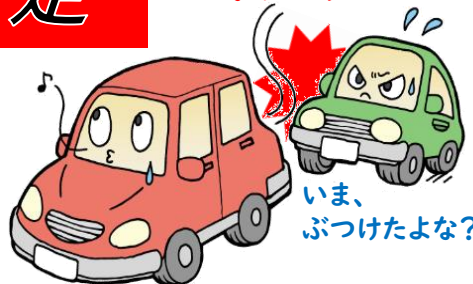
駐車場で聞き込みを行ったところ、この事故の目撃者がおり、得られた情報から捜査を行った結果、当て逃げ車両を特定することが出来ました。

事故を起こしたら必ず届出すること



交通事故発生時の警察への報告は、道路交通法で定められた運転者の義務です。

ガツンッ!!



発行所

折尾警察署

TEL093-691-0110

遠賀川交番

折尾警察署
ホームページ



遠賀川交番管内

5月中事件・事故発生状況
(令和7年5/1~5/20現在)

	0	物件	23
車上ねらい	0	物件	23
自転車盗	0	人身	3
オートバイ盗	0		
自販機ねらい	0		
侵入盗	0		
その他盗難	0		
性犯罪等	0		



大麻は危険な薬物です

◇ 薬物犯罪の検挙状況 ◇

福岡県警察では、令和6年中、覚醒剤や大麻の所持等で855人を検挙しており、その中には、学生や社会人など一般の人たちが含まれるなど、薬物犯罪が私たちの身近に存在しています。

◇ 令和6年中の県内検挙人員の内訳 ◇

- 覚醒剤 342人
- 大麻 466人
- 麻薬 25人
- 医薬品医療機器法 22人
- 麻薬特例法 30人



◇ 薬物乱用の蔓延

若年層を中心に大麻の検挙者が急増し、昨年的大麻事件検挙者のうち若年層の割合8割を超えており、蔓延と拡大が懸念されています。

乱用されるのは、大麻樹脂、花穂及び葉片であり、主成分のテトラヒドロカンナビノール (THC) が、大麻の薬理・毒性に起因することが明らかになっています。また、最近では幻覚成分を濃縮させた「大麻リキッド」「大麻ワックス」や、大麻を含んだ食品(クッキー、チョコレート、グミ)等の摘発も相次いでいます。



【大麻の精神への有害性・依存性】

大麻の成分である「THC(テトラヒドロカンナビノール)」は、脳内の記憶を司る海馬に影響し、不安やパニック等のほか、精神疾患を発症させるリスクを上昇させるなど、中枢神経に影響するとされ、青少年期の乱用は、特に記憶力や精神運動能力の低下等の影響を受けやすいとされています。

大麻の乱用により、いらだち、不安、不眠、うつ等の禁断症状が出現して、依存症になるおそれもあり、青少年期の乱用は更にリスクが高いとされています。